

参 考 資 料

- ・ 上下水道に関するアンケート調査結果概要（平成29年9月実施） 【資料1】
- ・ 諮問書 【資料2】
- ・ 答申書 【資料3】
- ・ 用語説明 【資料4】

参考資料（上下水道事業に関するアンケート調査結果）

1 調査概要

長岡京市上下水道事業に関するアンケート調査は平成 29 年 9 月に実施されました。発送件数 1,000 件のうち宛先不明分を除いた有効件数は 995 件であり、582 件が回収され、有効回答率は 58.5%となっています。

【平成 29 年度調査】

発送件数	有効回答数	有効回答率
1,000 件	582 件	58.5%

【参考：平成 15 年度調査】

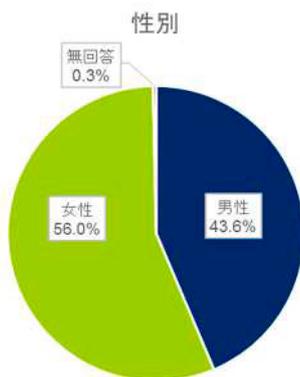
発送件数	有効回答数	有効回答率
1,000 件	554 件	55.7%

2 回答者属性

回答者の性別は、「男性」よりも「女性」が多くなっています。
 前回の調査よりも、「女性」の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

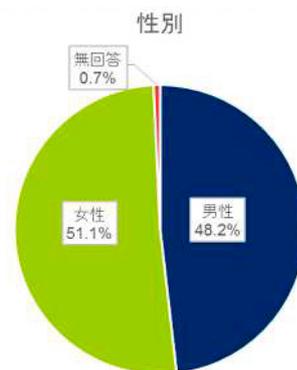
問 1-1. あなたの性別をお聞かせください。(n=582)



選択肢	回答数	割合
男性	254	43.6%
女性	326	56.0%
無回答	2	0.3%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-1. あなたの性別をお聞かせください。(n=554)

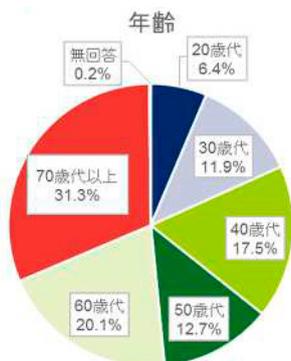


選択肢	回答数	割合
男性	267	48.2%
女性	283	51.1%
無回答	4	0.7%
計	554	100.0%

回答者の年齢は、「70歳代以上」の割合が31.3%と最も高くなっており、次いで、「60歳代」が20.1%で続いています。前回の調査よりも、60歳代以上（「60歳代」「70歳代以上」）の回答者の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

問 1-1. あなたの年齢をお聞かせください。(n=582)



選択肢	回答数	割合
20歳代	37	6.4%
30歳代	69	11.9%
40歳代	102	17.5%
50歳代	74	12.7%
60歳代	117	20.1%
70歳代以上	182	31.3%
無回答	1	0.2%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-1. あなたの年齢をお聞かせください。(n=554)

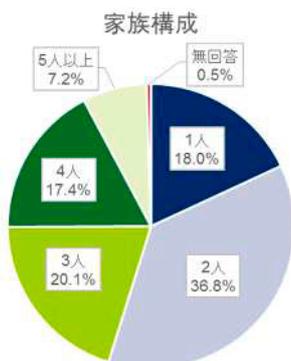


選択肢	回答数	割合
20歳代	56	10.1%
30歳代	109	19.7%
40歳代	102	18.4%
50歳代	155	28.0%
60歳代以上	129	23.3%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

回答者の家族構成は、「2人」の割合が36.8%と最も高くなっており、次いで、「3人」が20.1%で続いています。前回の調査よりも、「1人」「2人」の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

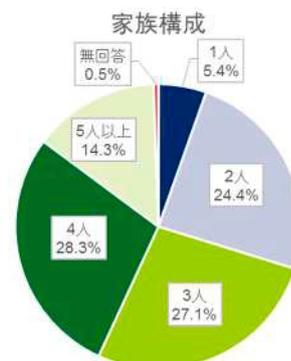
問 1-3. 家族構成はご自身を含めて何人ですか。(n=582)



選択肢	回答数	割合
1人	105	18.0%
2人	214	36.8%
3人	117	20.1%
4人	101	17.4%
5人以上	42	7.2%
無回答	3	0.5%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-2. 家族構成はご自身を含めて何人ですか。(n=554)



選択肢	回答数	割合
1人	30	5.4%
2人	135	24.4%
3人	150	27.1%
4人	157	28.3%
5人以上	79	14.3%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

回答者の家族構成は、「親と子」の割合が53.6%と最も高くなっており、次いで、「夫婦のみ」が34.6%で続いています。

【平成 29 年度調査】

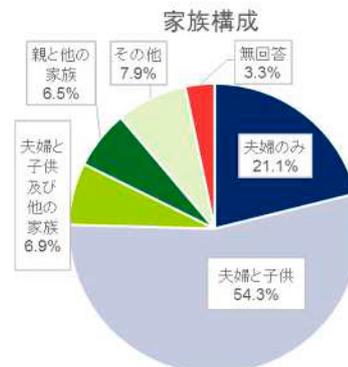
問 1-4. 問 1-3 で 2～5 に回答された方にお聞きします。その構成は次のうちどれに該当しますか。（n=474）



選択肢	回答数	割合
夫婦のみ	164	34.6%
親と子	254	53.6%
親と子と孫	25	5.3%
その他	26	5.5%
無回答	5	1.1%
計	474	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-3. 問 1-2 で 2～5 に回答された方にお聞きします。その構成は次のうちどれに該当しますか。（n=521）



選択肢	回答数	割合
夫婦のみ	110	21.1%
夫婦と子供	283	54.3%
夫婦と子供及び他の家族	36	6.9%
親と他の家族	34	6.5%
その他	41	7.9%
無回答	17	3.3%
計	521	100.0%

回答者の居住地は、「長岡中学校」の割合が27.1%と最も高くなっています。前回の調査よりも、「長岡中学校」と「長岡第二中学校」「長岡第四中学校」の割合が高くなっています。

【平成 29 年度調査】

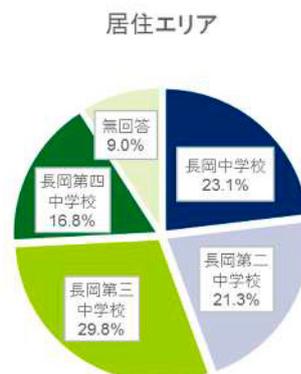
問 1-5. お住まいの中学校区はどちらですか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
長岡中学校	158	27.1%
長岡第二中学校	150	25.8%
長岡第三中学校	133	22.9%
長岡第四中学校	118	20.3%
無回答	23	4.0%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-4. お住まいの中学校区はどちらですか。（n=554）

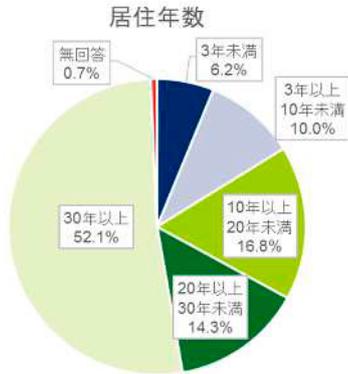


選択肢	回答数	割合
長岡中学校	128	23.1%
長岡第二中学校	118	21.3%
長岡第三中学校	165	29.8%
長岡第四中学校	93	16.8%
無回答	50	9.0%
計	554	100.0%

回答者の居住年数は、「30 年以上」の割合が52.1%と最も高くなっています。前回の調査よりも、「30 年以上」の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

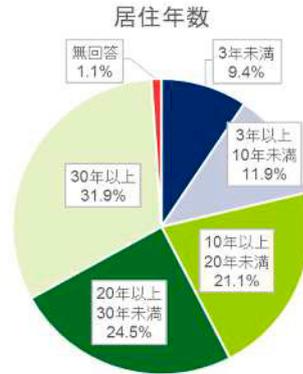
問 15.長岡京市にお住まいになって何年になりますか。
(n=582)



選択肢	回答数	割合
3年未満	36	6.2%
3年以上 10年未満	58	10.0%
10年以上 20年未満	98	16.8%
20年以上 30年未満	83	14.3%
30年以上	303	52.1%
無回答	4	0.7%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 1-5.長岡京市にお住まいになって何年になりますか。
(n=554)



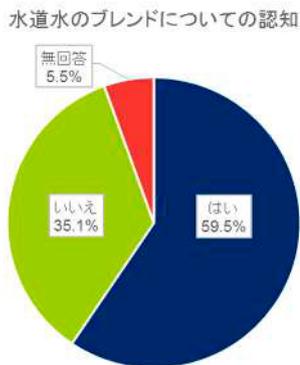
選択肢	回答数	割合
3年未満	52	9.4%
3年以上 10年未満	66	11.9%
10年以上 20年未満	117	21.1%
20年以上 30年未満	136	24.5%
30年以上	177	31.9%
無回答	6	1.1%
計	554	100.0%

3 水道水や飲み水について

「はい」の割合が59.5%と、「いいえ」よりも高くなっています。
前回の調査よりも、「はい」の割合が大きく低下しています。

【平成 29 年度調査】

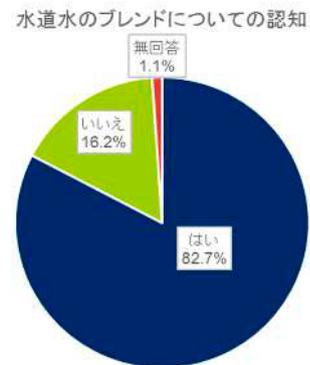
問 2-1.現在の水道水は、長岡京市の水道（地下水）と京都府からの水道（河川水）のブレンド（約50%ずつ）ですが、ご存知ですか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
はい	346	59.5%
いいえ	204	35.1%
無回答	32	5.5%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 2-3.本市の水道水には平成 12 年 10 月から京都府宮水道（河川水約 30%）がまざっていますが、ご存知ですか。（n=554）



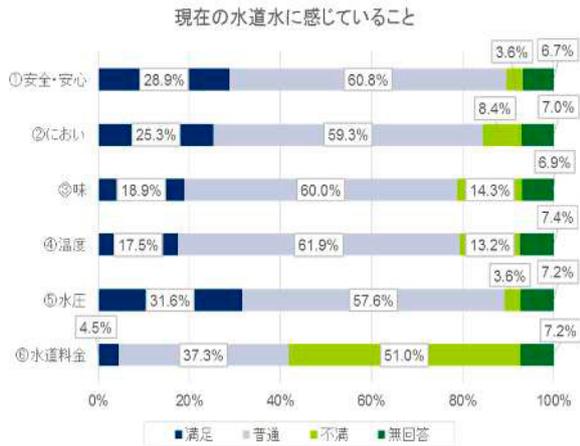
選択肢	回答数	割合
はい	458	82.7%
いいえ	90	16.2%
無回答	6	1.1%
計	554	100.0%

（①安全・安心を除く）全ての項目で前回の調査よりも、「満足」の割合が上昇しています。

「⑤水道料金」への「不満」の割合が、51.0%と全ての項目の中で最も高くなっていますが、前回の調査よりも低下しています。

【平成 29 年度調査】

問 2-2.現在の水道水についてどのように感じておられますか。（n=582）



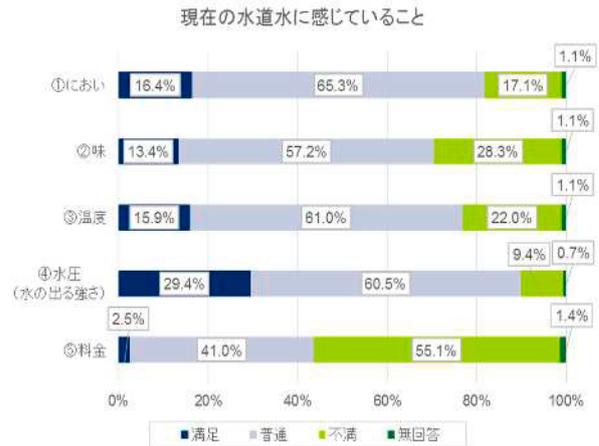
※「①安全・安心」については、平成 15 年度調査には項目が含まれていない。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
満足	168	147	110	102	184	26
普通	354	345	349	360	335	217
不満	21	49	83	77	21	297
無回答	39	41	40	43	42	42
計	582	582	582	582	582	582

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
満足	28.9%	25.3%	18.9%	17.5%	31.6%	4.5%
普通	60.8%	59.3%	60.0%	61.9%	57.6%	37.3%
不満	3.6%	8.4%	14.3%	13.2%	3.6%	51.0%
無回答	6.7%	7.0%	6.9%	7.4%	7.2%	7.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 3-1.現在の水道水についてどのように感じておられますか。（n=554）



選択肢	①	②	③	④	⑤
満足	91	74	88	163	14
普通	362	317	338	335	227
不満	95	157	122	52	305
無回答	6	6	6	4	8
計	554	554	554	554	554

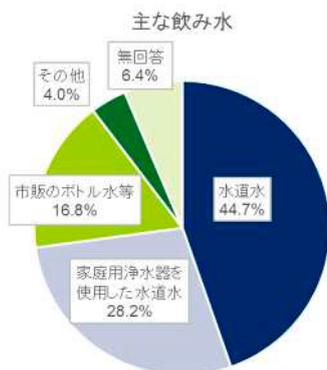
選択肢	①	②	③	④	⑤
満足	16.4%	13.4%	15.9%	29.4%	2.5%
普通	65.3%	57.2%	61.0%	60.5%	41.0%
不満	17.1%	28.3%	22.0%	9.4%	55.1%
無回答	1.1%	1.1%	1.1%	0.7%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「水道水」の割合が44.7%と最も高く、次いで、「家庭用浄水器を使用した水道水」が28.2%で続いています。

前回の調査よりも、「水道水」の割合が低下しています。

【平成 29 年度調査】

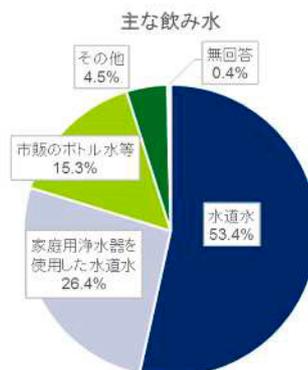
問 2-3. 普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
水道水	260	44.7%
家庭用浄水器を使用した水道水	164	28.2%
市販のボトル水等	98	16.8%
その他	23	4.0%
無回答	37	6.4%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 3-2. 普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。（n=554）



選択肢	回答数	割合
水道水	296	53.4%
家庭用浄水器を使用した水道水	146	26.4%
市販のボトル水等	85	15.3%
その他	25	4.5%
無回答	2	0.4%
計	554	100.0%

4 下水道について

「知らない」の割合が49.8%と、「知っている」よりも高くなっています。

【平成 29 年度調査】

問 3-1. 公共下水道事業には、生活排水などを浄化する汚水事業と浸水被害を軽減するための雨水事業がありますが、ご存知ですか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
知っている	262	45.0%
知らない	290	49.8%
無回答	30	5.2%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

設問なし

「知らない」の割合が57.4%と、「知っている」よりも高くなっています。

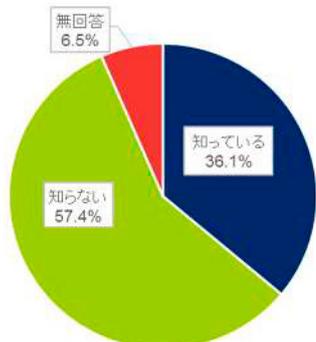
【平成 29 年度調査】

問3-2.水道事業は料金収入で運営されているのに対して、公共下水道事業の汚水事業は皆さんからの下水道使用料収入のほか、税金が充てられていることをご存知ですか。（n=582）

【平成 15 年度調査】

設問なし

下水道事業の汚水事業の理解



選択肢	回答数	割合
知っている	210	36.1%
知らない	334	57.4%
無回答	38	6.5%
計	582	100.0%

①～④において、「満足」の割合が「不満」の割合を上回っています。

「⑤下水道使用料」における「不満」の割合が36.4%と、全ての項目の中で最も高くなっています。

【平成 29 年度調査】

問3-3.現在の下水道についてどのように感じておられますか。（n=582）

【平成 15 年度調査】

設問なし

現在の下水道に感じていること



選択肢	①	②	③	④	⑤
満足	123	123	111	88	30
普通	369	387	396	386	300
不満	49	33	31	64	212
無回答	41	39	44	44	40
計	582	582	582	582	582

選択肢	①	②	③	④	⑤
満足	21.1%	21.1%	19.1%	15.1%	5.2%
普通	63.4%	66.5%	68.0%	66.3%	51.5%
不満	8.4%	5.7%	5.3%	11.0%	36.4%
無回答	7.0%	6.7%	7.6%	7.6%	6.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

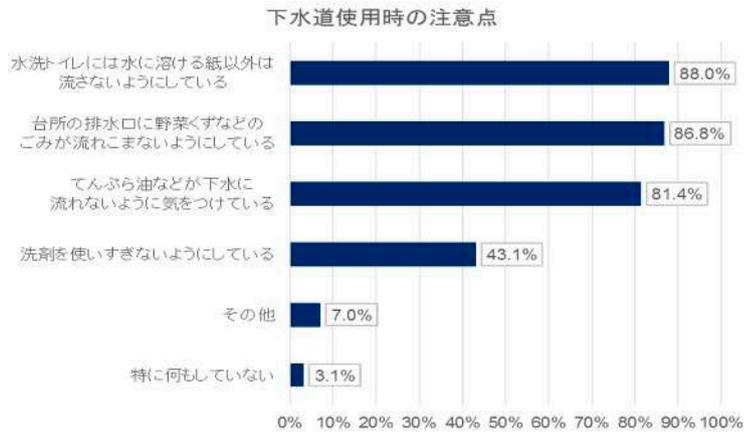
「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」の割合が88.0%と最も高くなっており、次いで、「台所の排水口に野菜くずなどのごみが流れこまないようにしている」、「てんぷら油などが下水に流れないように気をつけている」が続いています。

【平成 29 年度調査】

問3-4.あなたは、下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。（n=582）

【平成 15 年度調査】

設問なし



選択肢	回答数	割合
水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている	512	88.0%
台所の排水口に野菜くずなどのごみが流れこまないようにしている	505	86.8%
てんぷら油などが下水に流れないように気をつけている	474	81.4%
洗剤を使いすぎないようにしている	251	43.1%
その他	41	7.0%
特に何もしていない	18	3.1%
計	1,801	-

※複数回答可のため割合は回答数（582 件）に占める割合を表示しています。

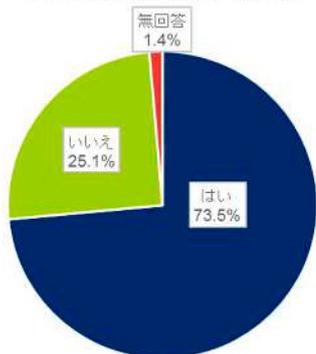
5 上下水道料金について

「はい」の割合が73.5%と、「いいえ」よりも高くなっています。
 前回調査より、「はい」の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

問 4-1. 上下水道料金は、使用しなくてもかかる料金と使用した水量にかかる料金の合計になっていますが、ご存知ですか。(n=582)

上下水道料金の内訳への理解

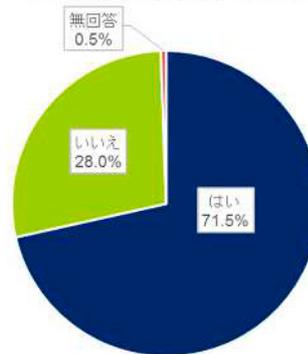


選択肢	回答数	割合
はい	428	73.5%
いいえ	146	25.1%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 4-1. 水道料金は、使用しなくてもかかる料金(準備料金)と使用した水量にかかる料金(水量料金)の合計になっていますがご存知ですか。(n=554)

上下水道料金の内訳への理解



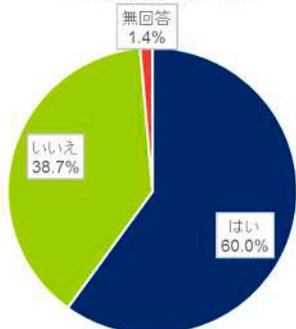
選択肢	回答数	割合
はい	396	71.5%
いいえ	155	28.0%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

「はい」の割合が60.0%と、「いいえ」よりも高くなっています。
 前回調査より、「はい」の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

問 4-2. 上下水道料金は使用する水量により単価が異なりますが、使用量が多ければ単価は高くなることをご存知ですか。(n=582)

上下水道料金の使用料と単価の関係への理解

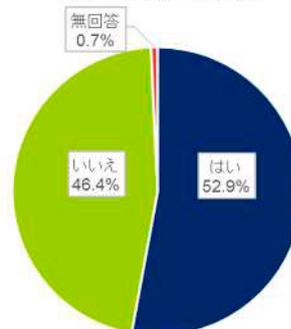


選択肢	回答数	割合
はい	349	60.0%
いいえ	225	38.7%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 4-2. 水道料金は使用する水量により単価が異なりますが、使用量が多ければ単価は高くなることをご存知ですか。(n=554)

上下水道料金の使用料と単価の関係への理解



選択肢	回答数	割合
はい	293	52.9%
いいえ	257	46.4%
無回答	4	0.7%
計	554	100.0%

6 節水機器について

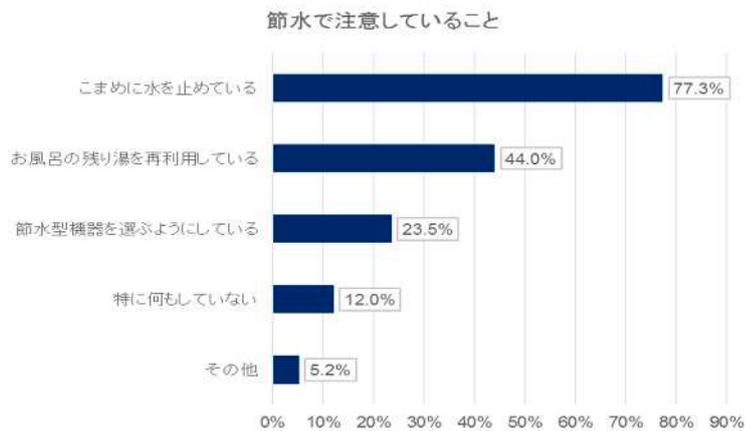
「こまめに水を止めている」の割合が77.3%と最も高くなっており、次いで、「お風呂の残り湯を再利用している」が44.0%で続いています。

【平成 29 年度調査】

問5-1.あなたは、節水についてどのようなことに気がつかっていますか。（n=582）

【平成 15 年度調査】

設問なし



選択肢	回答数	割合
こまめに水を止めている	450	77.3%
お風呂の残り湯を再利用している	256	44.0%
節水型機器を選ぶようにしている	137	23.5%
特に何もしていない	70	12.0%
その他	30	5.2%
計	943	—

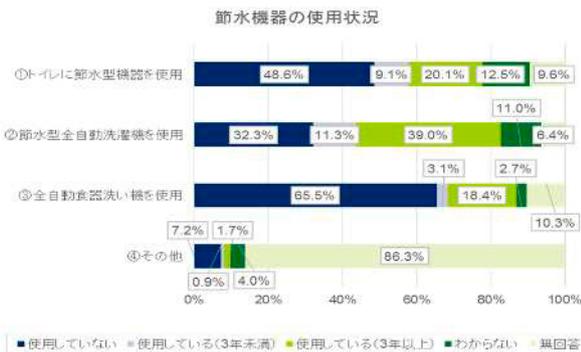
※複数回答可のため割合は回答数（582 件）に占める割合を表示しています。

「節水型全自動洗濯機を使用」の「使用している（3年未満）」「使用している（3年以上）」の割合が他の項目よりも高くなっています。

前回調査より、①～③の「使用している（3年未満）」「使用している（3年以上）」の合計の割合が上昇しています。

【平成 29 年度調査】

問5-2. 次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。（n=582）

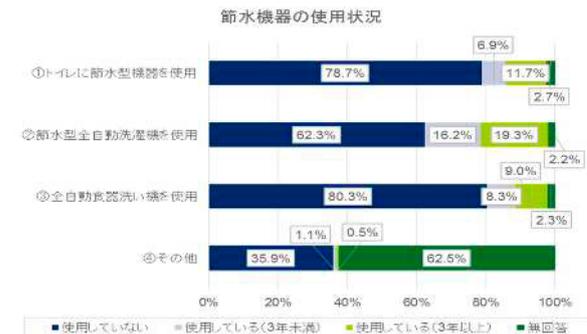


選択肢	①	②	③	④
使用していない	283	188	381	42
使用している（3年未満）	53	66	18	5
使用している（3年以上）	117	227	107	10
わからない	73	64	16	23
無回答	56	37	60	502
計	582	582	582	582

選択肢	①	②	③	④
使用していない	48.6%	32.3%	65.5%	7.2%
使用している（3年未満）	9.1%	11.3%	3.1%	0.9%
使用している（3年以上）	20.1%	39.0%	18.4%	1.7%
わからない	12.5%	11.0%	2.7%	4.0%
無回答	9.6%	6.4%	10.3%	86.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【平成 15 年度調査】

問5-1. 次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。（n=554）



選択肢	①	②	③	④
使用していない	436	345	445	199
使用している（3年未満）	38	90	46	6
使用している（3年以上）	65	107	50	3
無回答	15	12	13	346
計	554	554	554	554

選択肢	①	②	③	④
使用していない	78.7%	62.3%	80.3%	35.9%
使用している（3年未満）	6.9%	16.2%	8.3%	1.1%
使用している（3年以上）	11.7%	19.3%	9.0%	0.5%
無回答	2.7%	2.2%	2.3%	62.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

7 災害時について

「市販のミネラルウォーターなどを備蓄している」の割合が47.6%と最も高く、次いで、「備蓄していない」が43.0%で続いています。

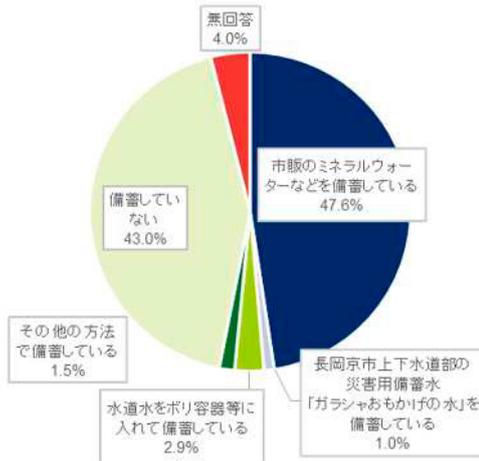
【平成 29 年度調査】

問6-1. あなたはご家庭では、地震等の災害に備えて飲料水の備蓄をしていますか。（n=582）

【平成 15 年度調査】

設問なし

災害時の飲料水の備蓄状況



選択肢	回答数	割合
市販のミネラルウォーターなどを備蓄している	277	47.6%
長岡京市上下水道部の災害用備蓄水「ガラシャおもかげの水」を備蓄している	6	1.0%
水道水をポリ容器等に入れて備蓄している	17	2.9%
その他の方法で備蓄している	9	1.5%
備蓄していない	250	43.0%
無回答	23	4.0%
計	582	100.0%

「3リットル未満」の割合が30.7%と最も高く、次いで、「3～5リットル程度」が28.2%で続いています。

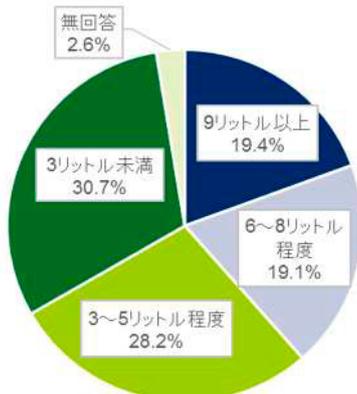
【平成 29 年度調査】

問6-2. 問6-1 において、1～4 に回答された方について、ご家族1人あたりの飲料水の備蓄量についてお聞きします。（n=309）

【平成 15 年度調査】

設問なし

災害時の飲料水の備蓄量



選択肢	回答数	割合
9リットル以上	60	19.4%
6～8リットル程度	59	19.1%
3～5リットル程度	87	28.2%
3リットル未満	95	30.7%
無回答	8	2.6%
計	309	100.0%

「知らない」の割合が61.5%と、「知っている」よりも高くなっています。

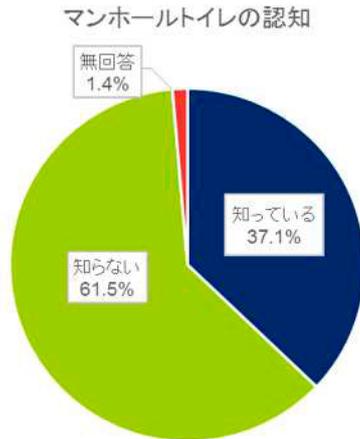
【平成 29 年度調査】

問6-3.災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ（災害用マンホールトイレ）を整備しています。

【平成 15 年度調査】

設問なし

①小中学校等の避難所に災害用マンホールトイレがあることをご存知ですか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
知っている	216	37.1%
知らない	358	61.5%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

「参加したことがない」の割合が92.6%と最も高くなっています。

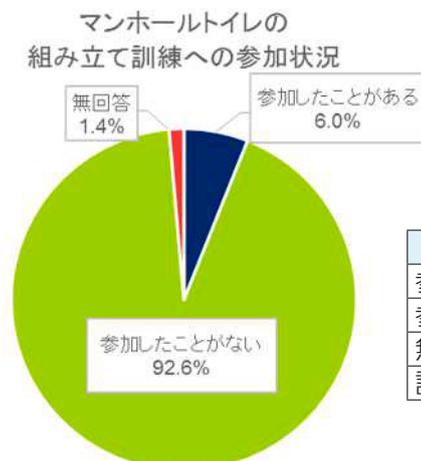
【平成 29 年度調査】

問6-3.災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ（災害用マンホールトイレ）を整備しています。

【平成 15 年度調査】

設問なし

②災害用マンホールトイレの組み立て訓練に参加されたことはありますか。（n=582）



選択肢	回答数	割合
参加したことがある	35	6.0%
参加したことがない	539	92.6%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

8 お客様サービスについて

全ての項目で「不満」よりも「満足」の割合が高くなっています。

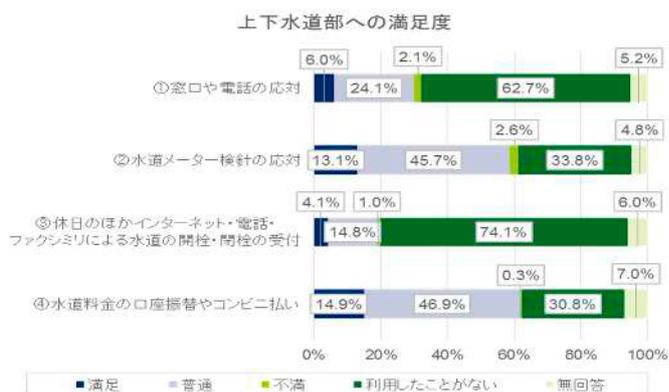
①や③において、「利用したことがない」との回答が過半数を占めています。

【平成 29 年度調査】

問 7-1. 上下水道部のお客さま対応やサービスに対するあなたの満足度をお聞きます。(n=582)

【平成 15 年度調査】

設問なし



選択肢	①	②	③	④
満足	35	76	24	87
普通	140	266	86	273
不満	12	15	6	2
利用したことがない	365	197	431	179
無回答	30	28	35	41
計	582	582	582	582

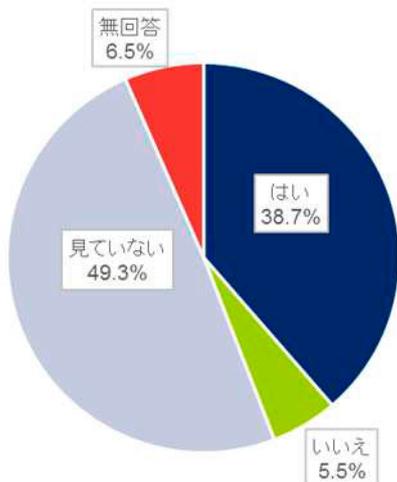
選択肢	①	②	③	④
満足	6.0%	13.1%	4.1%	14.9%
普通	24.1%	45.7%	14.8%	46.9%
不満	2.1%	2.6%	1.0%	0.3%
利用したことがない	62.7%	33.8%	74.1%	30.8%
無回答	5.2%	4.8%	6.0%	7.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「見ていない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「はい」が38.7%が続いています。

【平成 29 年度調査】

問 7-2. 上下水道部が行っている広報活動として「水だより」や「ホームページ」について、わかりやすいですか。(n=582)

上下水道部の広報活動への評価

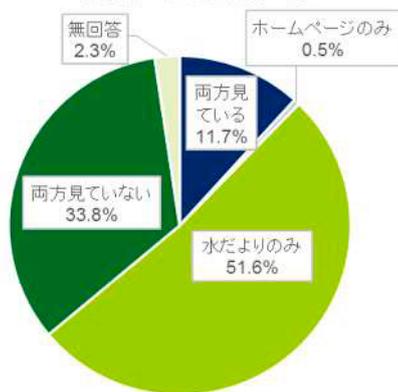


選択肢	回答数	割合
はい	225	38.7%
いいえ	32	5.5%
見ていない	287	49.3%
無回答	38	6.5%
計	582	100.0%

【平成 15 年度調査】

問 7-1. 水道局では広報誌「水だより」と「ホームページ」にて情報をお知らせしていますがご覧になっていますか。(n=554)

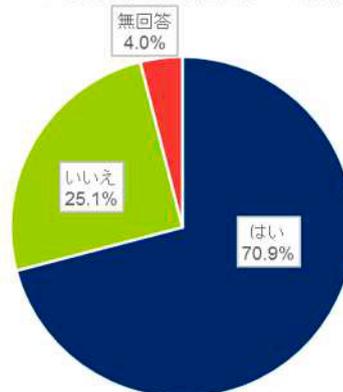
上下水道部の広報活動の認知



選択肢	回答数	割合
両方見ている	65	11.7%
ホームページのみ	3	0.5%
水だよりのみ	286	51.6%
両方見ていない	187	33.8%
無回答	13	2.3%
計	554	100.0%

問 7-2. それらの内容はわかりやすいですか。(n=354)

上下水道部の広報活動への評価

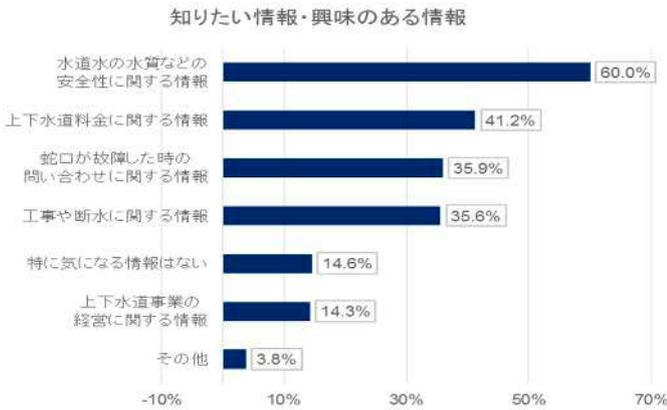


選択肢	回答数	割合
はい	251	70.9%
いいえ	89	25.1%
無回答	14	4.0%
計	354	100.0%

「水道水の水質などの安全性に関する情報」の割合が60.0%と最も高く、次いで「上下水道料金に関する情報」が41.2%で続いています。

【平成 29 年度調査】

問 7-3. あなたは、水道や下水道について知りたい情報や興味のある情報は、どのようなものでしょうか。（n=582）

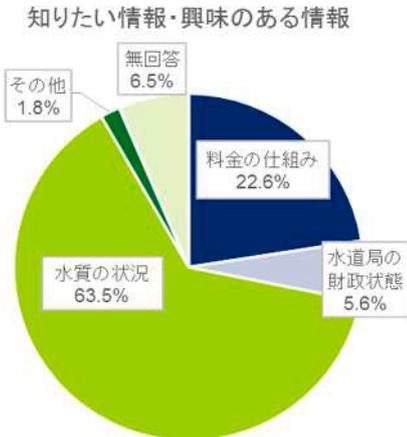


※複数回答可のため割合は回答数（582 件）に占める割合を表示しています。

選択肢	回答数	割合
水道水の水質などの安全性に関する情報	349	60.0%
上下水道料金に関する情報	240	41.2%
蛇口が故障した時の問い合わせに関する情報	209	35.9%
工事や断水に関する情報	207	35.6%
特に気になる情報は無い	85	14.6%
上下水道事業の経営に関する情報	83	14.3%
その他	22	3.8%
計	1,195	-

【平成 15 年度調査】

問 7-4. 今後水道局に関する情報について、次のうちどのようなことを知りたいですか。（n=554）



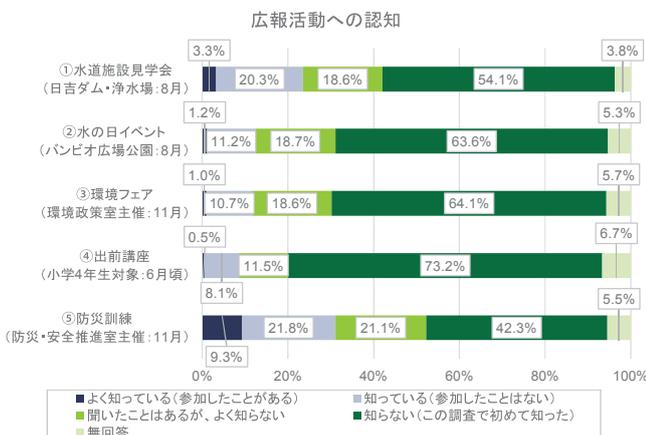
選択肢	回答数	割合
料金の仕組み	125	22.6%
水道局の財政状態	31	5.6%
水質の状況	352	63.5%
その他	10	1.8%
無回答	36	6.5%
計	554	100.0%

全ての項目で、「知らない（この調査で初めて知った）」の割合が最も高くなっています。全ての項目の中で、「⑤防災訓練」の認知度が最も高く、次いで「①水道施設見学会」が続いています。

※「よく知っている（参加したことがある）」「知っている（参加したことはない）」「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合の合計を認知度とした

【平成 29 年度調査】

問 7-4. 上下水道部が行っている広報活動について、どの程度ご存知ですか。（n=582）



【平成 15 年度調査】

設問なし

選択肢	①	②	③	④	⑤
よく知っている (参加したことがある)	19	7	6	3	54
知っている (参加したことはない)	118	65	62	47	127
聞いたことはあるが、よく知らない	108	109	108	67	123
知らない (この調査で初めて知った)	315	370	373	426	246
無回答	22	31	33	39	32
計	582	582	582	582	582

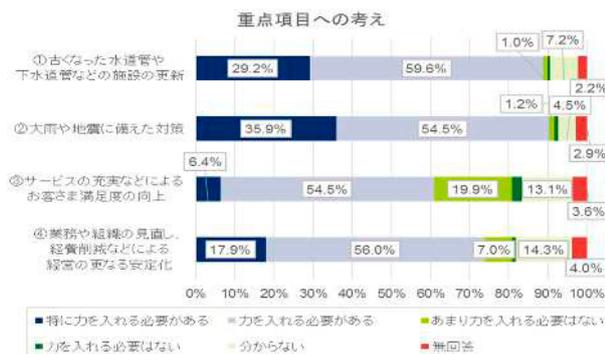
選択肢	①	②	③	④	⑤
よく知っている (参加したことがある)	3.3%	1.2%	1.0%	0.5%	9.3%
知っている (参加したことはない)	20.3%	11.2%	10.7%	8.1%	21.8%
聞いたことはあるが、よく知らない	18.6%	18.7%	18.6%	11.5%	21.1%
知らない (この調査で初めて知った)	54.1%	63.6%	64.1%	73.2%	42.3%
無回答	3.8%	5.3%	5.7%	6.7%	5.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

9 上下水道事業全般について

「①古くなった水道管や下水道管などの施設の更新」「②大雨や地震に備えた対策」など、施設の更新・強化について力を入れる必要があるとの回答（「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」）の割合が高くなっています。

【平成 29 年度調査】

問8-2. 上下水道部が重点的に進めている以下の項目について、あなたのお考えをお答えください。（n=582）



【平成 15 年度調査】

設問なし

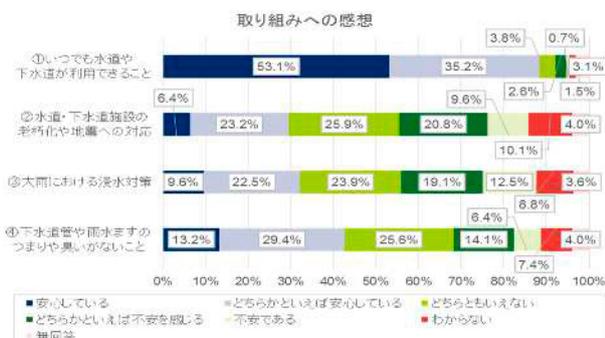
選択肢	①	②	③	④
特に力を入れる必要がある	170	209	37	104
力を入れる必要がある	347	317	317	326
あまり力を入れる必要はない	6	7	116	41
力を入れる必要はない	4	6	15	5
分からない	42	26	76	83
無回答	13	17	21	23
計	582	582	582	582

選択肢	①	②	③	④
特に力を入れる必要がある	29.2%	35.9%	6.4%	17.9%
力を入れる必要がある	59.6%	54.5%	54.5%	56.0%
あまり力を入れる必要はない	1.0%	1.2%	19.9%	7.0%
力を入れる必要はない	0.7%	1.0%	2.6%	0.9%
分からない	7.2%	4.5%	13.1%	14.3%
無回答	2.2%	2.9%	3.6%	4.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「①いつでも水道や下水道が利用できること」について安心しているという回答（「安心している」「どちらかといえば安心している」）の割合が他の項目よりも高くなっています。

【平成 29 年度調査】

問8-1. 皆様に安心して快適な生活をしていただくための取り組みについてご感想をお聞かせください。（n=582）



【平成 15 年度調査】

設問なし

選択肢	①	②	③	④
安心している	309	37	56	77
どちらかといえば安心している	205	135	131	171
どちらともいえない	22	151	139	149
どちらかといえば不安を感じる	15	121	111	82
不安である	4	56	73	37
わからない	9	59	51	43
無回答	18	23	21	23
計	582	582	582	582

選択肢	①	②	③	④
安心している	53.1%	6.4%	9.6%	13.2%
どちらかといえば安心している	35.2%	23.2%	22.5%	29.4%
どちらともいえない	3.8%	25.9%	23.9%	25.6%
どちらかといえば不安を感じる	2.6%	20.8%	19.1%	14.1%
不安である	0.7%	9.6%	12.5%	6.4%
わからない	1.5%	10.1%	8.8%	7.4%
無回答	3.1%	4.0%	3.6%	4.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「上下水道料金が上がらない範囲ですべき」の割合がともに高くなっています。

「②大雨や地震に備えた対策」の方が「上下水道料金が上がってもするべき」の割合が高くなっています。

【平成 29 年度調査】

問 8-3. 問 8-2 において、質問項目①及び②で、「特に力を入れる必要がある」または「力を入れる必要がある」とお答えになった方について、あなたのお考えをお答えください。（n=542）



【平成 15 年度調査】

設問なし

選択肢	①	②
上下水道料金が上がってもするべき	143	185
上下水道料金が上がらない範囲ですべき	349	306
わからない	28	34
無回答	22	17
計	542	542

選択肢	①	②
上下水道料金が上がってもするべき	26.4%	34.1%
上下水道料金が上がらない範囲ですべき	64.4%	56.5%
わからない	5.2%	6.3%
無回答	4.1%	3.1%
計	100.0%	100.0%

29長水総第253号
平成29年8月16日

長岡京市上下水道事業審議会 会長 様

長岡京市長 中小路 健 吾

長岡京市上下水道事業審議会（諮問）

下記のことについて、長岡京市上下水道事業審議会設置条例第2条の規定により諮問します。

記

1. 経営戦略による上下水道ビジョンの策定と今後の水道料金及び下水道使用料のあり方

2. 諮問理由

長岡京市の水道事業は、平成21年に策定した水道ビジョンが平成31年度に終了し、次期ビジョンを策定する必要があります。一方、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の全部適用（法適化）がスタートし、水道事業と同様のビジョンを策定するところであり、このような中で、上下水道事業を含む公営企業に対して、総務省から「経営戦略」策定の要請が出されました。

つきましては、平成32年度からの上下水道ビジョンの策定にあたり、遊休地の活用も含めた施設整備の方向性に加えて、経営戦略の視点を盛り込み、将来に向けて上下水道の各事業を健全に運営できますよう、現行の各料金体系における利用者負担のあり方、即ち「今後の水道料金及び下水道使用料のあり方」についても、ご審議をいただきたく諮問いたします。

令和元年8月1日

長岡京市長 中小路 健吾 様

長岡京市上下水道事業審議会
会 長 山 田 淳

答 申 書

平成29年8月16日付け29長水総第253号で諮問のありました「長岡京市上下水道ビジョン(経営戦略)の策定及び今後の水道料金及び下水道使用料のあり方」について、慎重に審議を行った結果、別添のとおり答申します。

つきましては、この答申の趣旨を十分に尊重され、重要な都市基盤である長岡京市上下水道事業の安定経営に務められ、将来にわたり市民が安心安全で快適な生活を営んでいけるよう、一層の努力を払われることを希望いたします。

答 申 書

令和元年8月

長岡京市上下水道事業審議会

はじめに

水道事業は、平成 12(2000)年 10 月から京都府営水道の受水を開始したことから、その後の施設整備の計画として、平成 21(2009)年 6 月の水道事業懇談会からの提言により水道ビジョンを策定し、その水道ビジョンに基づき事業運営が行われてきました。

また、公共下水道事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的とし、汚水事業を優先して進めてきた結果、令和 2(2020)年度には整備率がほぼ 100%となります。しかし、近年の降雨状況の変化等から、安心して快適な生活を守るための雨水事業の重要性が高まっています。

このような中、平成 29(2017)年 8 月に設置された上下水道事業審議会(以下「審議会」という。)では、長岡京市長からの諮問を受け、以下のとおり審議を重ねてきました。

会議名	開催日	主な審議内容
第 1 回	平成 29 年 8 月 16 日	委嘱状交付、会長・副会長選出、諮問、審議会開催概要(案)、部会の設置、アンケート(案)ほか
	平成 29 年 9 月 20 日	上下水道事業施設見学
第 2 回	平成 29 年 11 月 15 日	アンケート調査結果(速報)、水道事業の現状と課題ほか
第 3 回	平成 30 年 2 月 20 日	アンケート調査結果報告書、今後の水道事業環境、水道事業の具体的な取り組みほか
第 4 回	平成 30 年 5 月 25 日	下水道ビジョンの位置づけ、下水道事業の現状と課題ほか
第 5 回	平成 30 年 8 月 30 日	今後の下水道事業環境、下水道ビジョンの施策体系、下水道事業の具体的な取り組みほか
第 6 回	平成 30 年 11 月 26 日	水道事業の経営戦略ほか
第 7 回	平成 31 年 2 月 22 日	下水道事業の経営戦略ほか
第 8 回	令和 元年 5 月 22 日	上下水道料金のあり方ほか
第 9 回	令和 元年 8 月 1 日	答申

※第 1 回及び第 9 回を除く各回審議会の前に学識経験者による部会を開催

1 上下水道ビジョン(経営戦略)

上下水道ビジョンを策定するにあたり、総務省から策定が要請された経営戦略の視点を盛り込み、別紙のとおりまとめました。

令和2(2020)年度から令和11(2029)年度の10年間の計画期間において、事業効率化や経営健全化の取組方針を反映させて、施設・設備の投資見通しである「投資試算」などの支出と、財源見通しである「財源試算」の収入を均衡させた収支計画を策定しました。これを経営戦略とし、市民生活の安全・安心を確保するとともに、上下水道事業の安定経営に努め、着実に事業の推進を図ることが重要です。その財源試算における重点基準目標に取り組む審議において、その取り組みの方向性などについて、以下のとおり、今後の水道料金及び下水道使用料のあり方についてまとめました。

2 今後の水道料金及び下水道使用料のあり方

(1) 水道料金について

計画期間における水需要は、人口減少に加えて節水も続くことから、令和11年度の計画最終年度では、有収水量は約3.4%減少し、水道料金収入も連動して減収します。ただ、施設整備の投資試算では、施設や管路の耐震化など積極的な取り組みが求められており、これらの施設や管路の耐震化などを計画的に整備することで、将来にわたり安全な水道水を安定供給していかなければなりません。

そのような状況の中、投資試算を支える財源試算では、計画の重点基準目標として、「経常収支比率100%以上」、「自己資金残高9億円以上」、「給水収益に対する企業債残高の割合300%以下」の3つの指標を設定しました。まず、「経常収支比率100%以上」は、計画期間全般で概ね100%以上を維持することができます。一方、「自己資金残高9億円以上」は、令和7(2025)年度から9億円以下になり、「給水収益に対する企業債残高の割合300%以下」は、令和6(2024)年度以降(令和9・10年度を除く)に300%以上となり、目標達成が困難な状況にあります。

そこで、水道事業の施設整備計画の策定手法であるアセットマネジメントに基づく効率的な投資による事業運営を行い、計画期間の前半の経営状況を踏まえて、中間地点である令和6(2024)年度に、水道料金も含めて上下水道事業審議会において審議することが必要です。

また、本市水道事業に大きく影響する京都府営水道において、3浄水場系の建設負担料金の統一による更なる受水費の軽減に向け協議されており、京都府営水道事業経営審議会の審議の動向についても注視する必要があります。その受水費軽減の方向性により、本市水道料金の軽減も検討する必要があります。

(2) 下水道使用料について

汚水事業では、計画期間の開始年度には整備が完了予定となり、今後は維持管理として、施設の長寿命化を進められるところであります。ただ、水道事業と同様、水需要及び人口減少に加えて節水も続くことから、有収水量は約4.3%減少し、下水道使用料収入も連動して減収します。

また、あわせて、雨水事業では、近年の降雨状況から、これまでの10年間の投資額の5倍の約34億円をこの計画に盛り込み、浸水対策の整備を積極的に進められるところであります。

そのような状況の中、汚水事業における経営の健全性を維持していくことがとりわけ重要となり、その財源試算として、計画期間では3つの重点基準目標として、「基準外一般会計繰入金の削減又は解消」、「経費回収率100%以上」、「運転資金の確保」を設定しました。「運転資金の確保」として、少なくとも約2億円を確保しつつ、これまで通りの試算で積算すると、「基準外一般会計繰入金の削減又は解消」については、現在の約3億円から令和7(2025)年度には約5億円に増加します。また、「経費回収率100%以上」は、現状の85%を推移し、これらの3つの重点基準目標を達成できる事業運営が必要となります。

そこで、下水道事業の施設整備計画手法であるストックマネジメントによる投資試算の適正化と特定財源の確保などの経営健全化への取り組みを進めるとともに、上記の重点基準目標を改善するためには、計画期間開始年度の令和2年度から下水道使用料を見直すこととして、「基準外一般会計繰入金の削減又は解消」のうち、基準外一般会計繰入金のほとんどを占めている資本的収入の他会計出資金を解消するには、平成29(2017)年度数値で試算すると、2.73億円(資本的収入の他会計出資金)に対して12.39億円(税抜の下水道使用料)で割り戻すと約22%の下水道使用料改定が必要となります。

3 むすび

上下水道ビジョン(経営戦略)を実施されるにあたり、重点基準目標を達成されつつ、安定的な上下水道事業運営を着実に推進されることを要望いたします。ただ、上下水道料金の改定にあたっては市民の負担をお願いすることであり、十分な理解が得られるとともに、市独自の経費の削減はもとより、事業経営に大きく影響する京都府営水道からの受水費及び京都府洛西浄化センターへの汚水処理費の削減を求めるなどの市民負担の軽減に努力される必要があります。

また、水道事業用地の利活用については、本市唯一の浄水場であります東第2浄水場を引き続き活用し経費を縮減されるとともに、その他の遊休地についても、市の公共施設再編事業と連携し、公共施設の利活用や収益確保を図られることを求めます。

長岡京市上下水道事業審議会委員名簿

氏名	所属団体等	備考
大谷 厚子	長岡京市女性の会	
片山 洋子	長岡京市生活学校・生活会議	
小坂 浩司	国立保健医療科学院上席主任研究官	副会長
佐藤 陽子	公認会計士	部会員
角山 初美	市民公募	
西川 結衣	京都生活協同組合西ブロック	
西村 厚子	長岡京市環境の都づくり会議	
丸山 正樹	(公財)長岡京水資源対策基金	
山田 淳	立命館大学名誉教授	会長
山根 光礼	市民公募	
山本 一弥	長岡京市自治会長会	
山本 順子	長岡京市商工会	

(敬称略50音順)

用語の解説

あ行

アセットマネジメント（水道事業）

持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する手法のこと。

一般会計繰入金

一般会計からの繰入金のうち、総務省の定める基準に基づくものを基準内一般会計繰入金といい、総務省の定める基準に基づかないものを基準外一般会計繰入金という。

雨水貯留浸透施設

浸水被害の軽減や地下水の涵養のため、雨水を貯留させたり、地中に浸透させたりする施設のこと。

か行

管渠

下水を収集し、排除するための施設で、汚水管渠、雨水管渠等の総称。

管路

管渠、マンホール、ます、取付管、吐口などを含む総称。

業務指標（水道事業）

水道事業の効率を図るために活用できる規格の一種で、水道事業体が行っている多方面にわたる業務を定量化し、厳密に定義された算出式により評価する指標。なお、算出式は、日本水道協会規格である水道事業ガイドラインに基づく。

クリプトスポリジウム

腸管に感染して下痢を起こす病原生物で、厚い殻に覆われ、塩素などの化学薬剤に対する抵抗性があり、塩素消毒の効果は期待できない。

※クリプトスポリジウム対策として、浄水工程での適切なる過による除去や、紫外線照射による不活化があります。

経営比較分析表

地方公営企業の経営の状況や施設の状況等にかかる各種指標を経年的にグラフ形式で示したもので、経年比較や他団体との比較分析によって、経営の現状や課題を把握することができる。

※この経営比較分析表は、総務省からの通知によって算出及び公表している。

下水道処理人口普及率

行政区域のうちどの程度公共下水道の整備が完了しているかを判断する指標で、算出式は次のとおり。

下水道処理区域内人口／行政区域内人口× 100 (%)

減価償却費

固定資産の減価を費用として、その利用各年度に合理的かつ計画的に負担させる会計上の処理を減価償却といい、この処理によって、特定の年度の費用とされた固定資産の減価額を減価償却費といい、現金を伴わない費用である。

建設負担水量

京都府営水道の水源開発・施設整備等の投資に係る負担を受水市町で分かつために決定している水量のことで、建設負担料金の算定に用いられる。

公共下水道

主として市街地における下水を排除または処理するために、市町村が管理する下水道をいう。

さ行

再生可能エネルギー

一般的な定義としては、太陽光や水力、風力など、自然界に常に存在するエネルギーのこと。

自然流下方式

水が高い所から低い所へ流れる位置エネルギーを利用し、水道水を供給する方式をいう。

資本的収支

将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金などの支出と、その財源となる企業債や補助金などの収入をいう。

収益的収支

一事業年度の経営活動に伴い発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用をいう。

受水

水道事業者が、水道用水供給事業から浄水処理した水(水道水)の供給を受けることをいう。

しゅんせつ 浚渫工事

河川などの底面をさらって土砂などを掘り取り、運搬処分する工事をいう。

小水力発電設備

水の持つ位置エネルギー・運動エネルギーを、水車(発電機)を介して電気に変換する発電設備のことをいう。また、概ね出力10,000kw以下の小規模な発電設備を総称して「小水力発電」という。

水洗化率

現在処理区域内人口に対して、水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合で、算出式は次のとおり。

$$\text{下水水洗人口} / \text{処理区域内人口} \times 100 (\%)$$

ストックマネジメント(下水道事業)

持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、施設の状況を客観的に把握、評価し、中長期的に下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。

送水管

浄水処理された水道水を、浄水場から配水池などの配水施設に送る水道管のことをいう。

た行

長期前受金(戻入)^{れいにゅう}

固定資産取得のために交付された補助金などを負債(繰延収益)に計上したもので、減価償却見合い分を収益化したものを長期前受金戻入といい、現金を伴わない収入である。

長寿命化計画(下水道事業)

平成25年に「国土交通省インフラ長寿命化計画」に基づき、下水道施設の点検・調査による結果に基づく施設の改築等で、耐用年数の延伸等を図る対策を定めた計画のことをいう。

改築 … 長寿命化対策により所定の耐用年数を新たに確保するもの

修繕 … 長寿命化対策により所定の耐用年数内機能を維持させるもの

導水管

井戸などの水源から取水した水を、浄水場に送る水道管のことをいう。

な行

内水

河川の堤防を基準に、堤防の外側、いわゆる市街地の水をいい、堤防の内側を「外水」という。

内部留保資金

減価償却費などの現金を伴わない支出や収益的収支における利益から、長期前受金戻入などの現金を伴わない収入を引き、事業内に留保される自己資金のことをいう。

は行

配水管

配水池などの配水施設から個々の使用者に給水する水道管のことをいう。

PDCA サイクル

業務プロセス管理手法の一つで、Plan（計画）-Do（実施）-Check（検証）-Action（見直し）の4段階を繰り返すことによって、継続的な改善を目指していく手法のことをいう。

不明水

地下水や雨水が、老朽化した汚水管渠かんきょなどの隙間から流入したものをいう。

法定耐用年数

地方公営企業法施行規則の別表2で定められている有形固定資産がその本来の用途に使用できると思われる推定耐用年数のことをいう。

ま行

水安全計画

水源（原水）から蛇口（給水栓水）までのあらゆる過程において、水道水の水質に悪影響

を及ぼす可能性のある全ての要因（危害）を分析し、管理対応する方法を予め定めることで、想定される全ての危害への対応方法を整備するとともに、平常時の水質管理をさらに徹底し、安全・安心で良質な水道水の供給の確保に努めるための計画のことをいう。

や行

有収水量

水道料金や下水道使用料の徴収の対象となる水量のことをいう。

有収率

有収率の算出式は次のとおり。

水道事業 有収水量／配水量×100（％）

下水道事業 有収水量／処理水量×100（％）

遊離残留塩素

水道水の安全のために浄水処理工程において注入された塩素が、水道水中に残留したものをいう。水道法により、安全性確保のため、蛇口から出る水道水には必ず一定の残留塩素があるように定められている。

ら行

流域下水道

2つ以上の市町村からの下水を受け、処理するための下水道のことをいう。

流下貯留方式

雨水を地下などの施設に貯留するとともに、貯留水の一部をポンプで川へ放流する方式のことをいう。